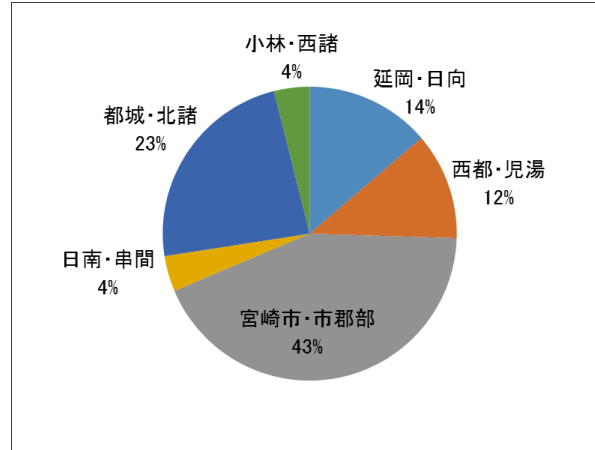


第2回『認知症初期集中支援チーム 研修会』アンケート結果

参加総数: 58名 アンケート提出 51名 (回収率: 87.9%)

所属ブロック:

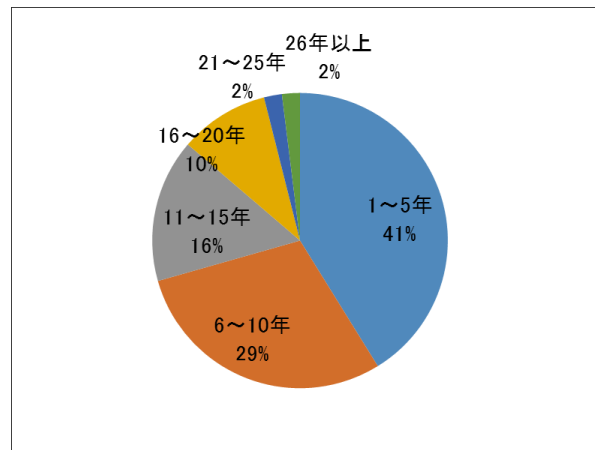
	人数
宮崎市・市郡部	22
日南・串間	2
都城・北諸	12
小林・西諸	2
延岡・日向	7
西都・児湯	6



経験年数:

	人数
1～5年	21
6～10年	15
11～15年	8
16～20年	5
21～25年	1
26年以上	1

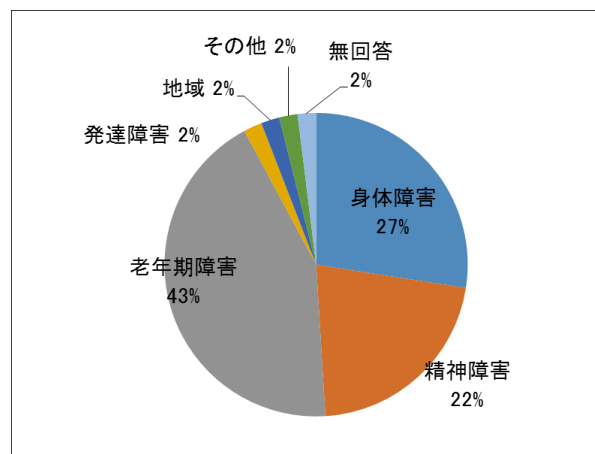
※ケアマネ1人含む



主な専門領域:

	人数
老年期障害	22
身体障害	14
精神障害	11
地域	1
発達障害	1
その他	1
無回答	1

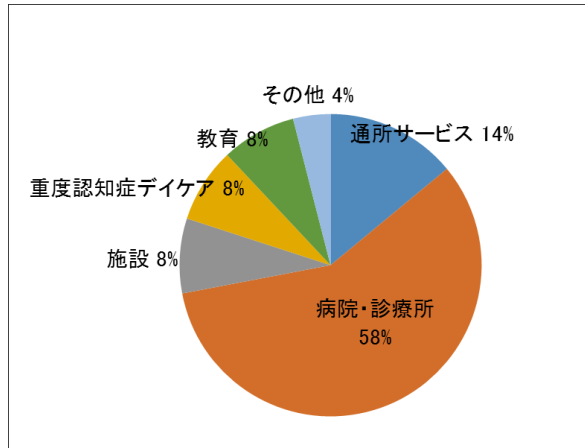
(重複回答あり)



施設区分：

	人数
病院	29
重度認知症デイケア	3
精神科デイケア	2
施設	4
通所リハ	4
通所介護	3
教育	4
その他	2

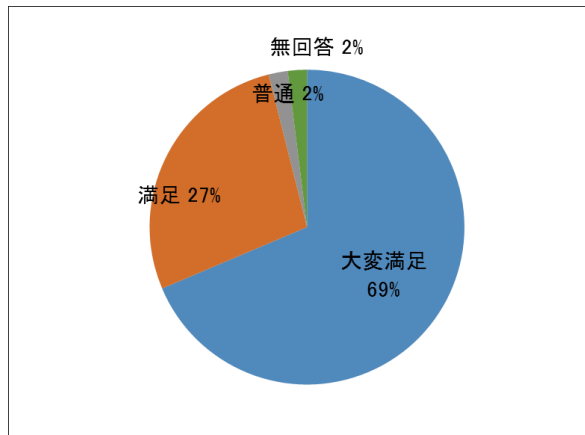
(重複回答あり)



1. 今回の研修会の内容についてお聞かせください。

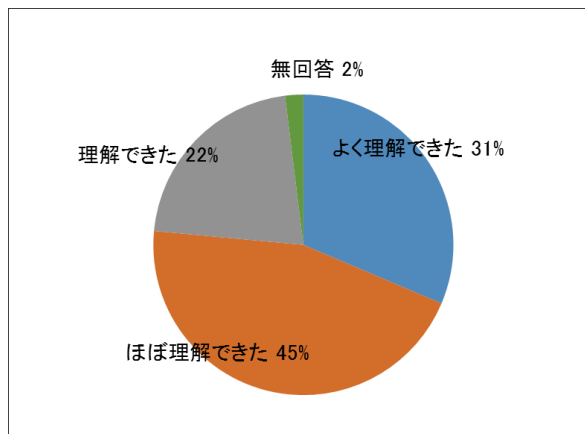
① 満足できる内容でしたか？

	人数
大変満足	35
満足	14
普通	1
無回答	1



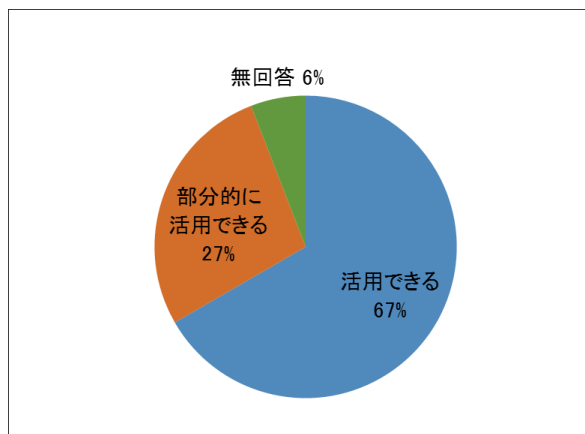
② 理解しやすい内容でしたか？

	人数
よく理解できた	16
ほぼ理解できた	23
理解できた	11
無回答	1



③ 活用できそうですか？

	人数
活用できる	34
部分的に活用できる	14
無回答	3



2. 今回の研修会でとくに参考になった点を教えてください。

- ・信念対立解明アプローチの実践場面と方法のポイント(8)。
- ・相手の発言だけに目を向けるのではなく、状況や相手の感情を考慮することが大切。相手の世界観を推測して物事を考えること。相手の言動に振り回されないこと。(6)
- ・相手の言うことにいちいち反応して疲弊してしまうため、「スルー」もしていいのだなと思いました。(3)
- ・年を重ねて何となく行っていたことが、学問として研究されており、それがアプローチ方法として確立されていることに興味深いと思いました(2)。
- ・職場だけでなく、普段の生活でも活用できるものだと思います。これから新しい考え方ができることで、よりよいチーム医療ができるようにしたいです。ありがとうございました。(2)
- ・“対立”に対しての対処の糸口が見えた気がします。
- ・自分がやっていた、考えていた相手との対立や自分の想いを、客観的に判断することができた。とても面白かった。
- ・問題の扱い方の整理。
- ・教育の仕事では、自分の基準が学生に通用しない場面が多くあります。教育というので難しいこともあるのですが、人のことを知ることをOTとして参考にしたいと思います(現象の意識化)。
- ・日ごろ何となく無意識にしていたアプローチを建設的に言語化・文章化していただけた気がします。また深めていきたいです。以前から興味があったテーマで、一度講演を聞きたいと思っていた先生でした。とてもよかったです。
- ・他職種とのコミュニケーションをとる上での重要なポイントを得られました(2)。
- ・無料の信念対立解明ツールを利用し、職場の人間関係で困ったときや他職種連携で困ったとき等に実験していきたいと思います。
- ・全体的に勉強になった。
- ・分かりやすく参考になった。
- ・自分が過去一人職場でOTを初めて見る他職種の人に行った対応が、そう大きく間違っていなかったと感じ安心しました。こんな理論が隠れていたのですね。
- ・現象が大事、笑いも大事、楽しい講義でした。

3. 今後、認知症初期集中支援チーム研修会の中で学びたい情報や知識はありますか？

- ・多くの事例(2)。
- ・趣味・特技をアプローチに入れる場合、自己プログラムへの介入をどのように促したらよいのか、方法、ケアマネへの説明など。
- ・問題の何がどのくらい多いのかを知りたいです。
- ・宮崎市ではまだ認知症初期集中支援チームが出来ていない状態です。この支援チームで仕事をするにあたり必要な研修の情報。
- ・作業科学。
- ・認知症の評価

4. その他、ご意見ご要望等をお願いします。

特になし。